



平成 28 年 2 月 9 日

各 位

会社名 日本信号株式会社
代表者名 代表取締役社長 降旗 洋平
(コード番号：6741 東証第一部)
問合せ先 財務部長 田口 誠
(TEL 03-3217-7200)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 11 月 10 日に開示した平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 105,000 | 9,300 | 10,000 | 6,000 | 87.96 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 92,000 | 7,000 | 7,700 | 4,700 | 68.91 |
| 増 減 額 (B-A) | △13,000 | △2,300 | △2,300 | △1,300 | — |
| 増 減 率 (%) | △12.4 | △24.7 | △23.0 | △21.7 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期) | 100,416 | 8,377 | 9,096 | 5,413 | 79.37 |

2. 平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|--------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 87,000 | 8,000 | 5,000 | 73.22 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 76,000 | 6,400 | 4,400 | 64.44 |
| 増 減 額 (B-A) | △11,000 | △1,600 | △600 | — |
| 増 減 率 (%) | △12.6 | △20.0 | △12.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期) | 84,514 | 6,810 | 4,256 | 62.32 |

3. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、各種鉄道信号システムの他、道路交通管制システム、駅務自動化システム、駐車場管理システムなどの製品において積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めてまいりました。

鉄道信号では、訪日外国人の増加などを背景にした鉄道事業者の安全設備、旅客サービスへの更なる投資を見込み、その取り込みを図ってまいりました。しかしながら、各社の投資が当社の想定を下回り、受注が伸び悩んでおります。また鉄道信号における防災減災関連市場や交通情報システムにおける道路関連市場の開拓に取り組んでおりますが、今期は大きな需要を喚起するには至っておりません。駐車場システムを中心とする制御機器においては駐車場事業者の新サービスへの投資の移行などにより、受注・売上は低調に推移しています。

このような事業環境および当第3四半期連結累計期間までの連結業績を踏まえて、通期連結業績予想と通期個別業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、インドネシア・ジャカルタ都市高速鉄道（MR T）南北線向け信号システムおよびAFCシステムの受注などの海外事業の受注は、堅調に推移しております。

※本資料に記載されている業績見通し等の記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上
